

平成 29 事業年度

決 算 報 告 書

自：平成 29 年 4 月 1 日

至：平成 30 年 3 月 31 日

国立大学法人熊本大学

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	14,493	14,008	△ 484	(注1)
施設整備費補助金	7,560	4,105	△ 3,454	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	1,773	1,294	△ 479	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	38	71	33	(注4)
自己収入	33,102	35,049	1,947	
授業料、入学料及び検定料収入	6,142	6,072	△ 69	(注5)
附属病院収入	26,116	28,099	1,983	(注6)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	843	877	33	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,899	4,996	97	(注8)
引当金取崩	—	33	33	(注9)
長期借入金収入	1,702	1,679	△ 23	(注10)
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	—	—	
計	63,569	61,239	△ 2,330	
支出				
業務費	45,030	45,968	937	
教育研究経費	18,784	18,451	△ 332	(注11)
診療経費	26,246	27,517	1,270	(注12)
施設整備費	9,300	5,856	△ 3,444	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	1,773	1,294	△ 479	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,899	4,531	△ 367	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	2,564	2,623	59	(注16)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	63,569	60,274	△ 3,295	
収入-支出	—	965	965	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 業務達成基準適用事業等による繰越のため、予算額に比して決算額が484百万円少額となっています。
- (注2) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が3,454百万円少額となっています。
- (注3) 一部の補助金において事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が479百万円少額となっています。
- (注4) 緊急営繕事業にかかる追加交付により、予算額に比して決算額が33百万円多額となっています。
- (注5) 授業料徴収対象者数の減に伴う授業料収入の減少等により、予算額に比して決算額が69百万円少額となっています。
- (注6) 増収努力に努めたこと等により、予算額に比して1,983百万円多額となっています。
- (注7) 自己収入の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が33百万円多額となっています。
- (注8) 外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が97百万円多額となっています。
- (注9) 自己都合による退職により、予算額に比して決算額が33百万円多額となっています。
- (注10) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が23百万円少額となっています。
- (注11) 業務達成基準適用事業等による繰越のため、予算額に比して決算額が332百万円少額となっています。
- (注12) 附属病院収入の増収に伴う医薬品の支出増等により、予算額に比して決算額が1,270百万円多額となっています。
- (注13) (注2・注10)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,444百万円少額となっています。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が479百万円少額となっています。
- (注15) 外部資金の繰越事業の増加により、予算額に比して決算額が367百万円少額となっています。
- (注16) 借入時期の変更等により、予算額に比して決算額が59百万円多額となっています。